

2023-24 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1547 回 (14)

会 長 瀬 尾 義 裕 幹 事 黒 木 成 光

クラブ会長テーマ



「次世代に希望を繋ごう！～手を取り合って～」

日 時	2023 年 10 月 17 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 おお マイフレンド 」 「ロータリアンの行動規範」唱和 ゲスト・ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



【 会 長 報 告 】

今月は、日本独自のロータリー月間としての「米山月間」です。ロータリー米山記念奨学会は、将来的に母国と日本との懸け橋となって活躍できる優秀な留学生を支援することを目的とした奨学事業です。本日、当クラブでも米山記念奨学生卓話として、林孟甫（リン モウフ）君をお招きしております。奨学事業の実情に関する生の声をしっかりお聞き頂き、奨学制度に学びを深めて下さい。

また、来る10月24日は世界ポリオデーですので、ポリオウィルスの関連で少し情報提供します。ポリオ（急性灰白髄炎）は脊髄性小児麻痺とも呼ばれ、ウイルスによって発生する疾病です。疾病名のとおり子ども（特に5歳以下）が罹患することが多く、麻痺などを起こす病気です。このポリオに関して、本年10月13日付けで「粘り強いサーベイランスがポリオ根絶に向けた前進の鍵」と題する記事がマイロータリーに掲載されました。サーベイランスとは注意深く監視するという意味です。友誌によれば常在国は限定されているはずですが、何故、その他の国でサーベイランスを必要とするのか、調査してみました。

米国の野生型ポリオウイルス（WPV）による最後の患者の発生は1979年であり、世界保健機関（WHO）は1994年にポリオ根絶を宣言しています。ところが、2022年7月18日、ニューヨーク州保健局（NYSDOH）は、ニューヨーク州ロックランド郡内において急性弛緩性麻痺を呈した若年成人の便検体からポリオウイルスを検出しました。その年6月に微熱、首のこわばり、背部痛、腹痛、便秘があり、両下肢脱力の症状を呈して入院したものです。その患者は発症8日前に大規模集会に参加していましたが、海外渡航歴はなかった。つまり国内感染したということです。調査の結果、ポリオワクチン未接種であるにも拘わらず、ワクチン株由来の2型ポリオウイルスが検出されました。また、調査により、発症日の25日前～41日後までの期間に採取されたロックランド郡と隣接郡の環境水からワクチン株由来である2型が検出されました。排水処理場の260検体中21検体（8%）からポリオウイルスが検出され、うち20検体は患者から検出されたウイルスと遺伝子的に関連していました。つまり、同地域で同一由来のウイルスの感染が広がっていたということです。

上記について、現在のところ明確な起源は不明です。しかし、米国は2000年に経口弱毒生ポリオワクチン（OPV）の接種を停止していること、患者に潜伏期間中の渡航歴はないことから、国外での2型経口生ポリオワクチン（OPV2）被接種者に起因した市中感染であることが示唆されています。また、遺伝子配列の比較から、イスラエルと英国の環境水から検出されたVDPV2との関連が確認されています。その後、米国内で新規患者は報告されていませんが、患者由来のウイルスと遺伝子配列的に関連のあるVDPV2が2カ月以上も環境水から検出されていることから、市中感染は継続中と考えられ、ワクチン接種率が低い地域では新たに麻痺性ポリオ患者が発生する可能性があるということです。

このように、地球上からポリオウイルスの根絶が完全に達成されるまでは、野生型と生ワクチン型の両方が全ての国に輸入される可能性がありますので、今なお、常在国以外でもワクチン接種を推奨する必要があり、かつ、サーベイランスが続けられているということです。

【プログラム情報】

《米山記念奨学生 卓話》



来日してから 5年間の歩み

ロータリー米山奨学生
林 孟甫(リン モウフ)

皆さん、こんにちは。ロータリー米山記念奨学生、福山平成大学の林孟甫と申します。今は経営学科4年生で、来年の3月卒業見込です。私の留学生活は残り数ヶ月のことですので、日本に来てからの5年を振り返りたいと思います。

まず、なぜ日本に留学しに来たのか、その理由について話したいと思います。私は中学の時から日本のアニメとドラマを見始めました。その時から日本の文化を好きになりました。日本人特有のマナー、丁寧な話し方、思いやりの心などが特に好きです。日系企業に勤めている父の影響も受け、幼い頃からマナーの大切さと思いやりの心を教われました。心の中でこう思いました。「日本のビジネスマナー学びたい」、「将来父と同じく、日系企業で働きたい」、「出来れば日本に留学したい、生活したい」、両親も私を応援して、日本に留学する機会を与えました。両親と一緒に日本留学センターの方と相談した結果、進学メインの日本語学校、大阪のエール学園に留学することが決めました。



2018年10月3日、私は一人で旅立ち日本に来ました。空港で迎えのバスに乗り、午後の2時に学校に着きました。1時間ほどの説明を聞いて、各自で学校と契約した寮の管理人と一緒に寮に帰る予定ですが、何故か私だけ学校に忘れまして、一人で2時間ほど放置されました。5時になって管理人が私のこと思い出して、学校に連絡し、私を迎えました。しかし、まだおわりではないです。寮に着いた私は

荷物の整理をし始めたいところ、生活用品と着替えの服を詰めたスーツケースの鍵が見当たらなかったです。急遽周りで買い出しました。二日後母からの速達国際郵便で予備の鍵が届きまして、やっと荷物の整理が出来ました。最悪の始まりとも言えるでしょう。

日本での生活が慣れ始めて、私はとある問題に気づきました。それは日本語話せる機会が少ないということです。日本語学校では周りが外国人ばかり、しかも中国語が通じる中国人が多いです。進学メインの学校ですので、試験問題を解くか、先生の説明を聞くかだけです。生活方面では都会ですから、どこの店に入ってもほぼ中国語が通じる店員さんがいます。この問題を解決するため、私はアルバイトを

2020年3月18日
一人で引越し
と
2020年4月4日
一人で入学式



始めました。しかし、予想外のことがありました。それは同僚の大半がベトナム人、仕事も大体皿洗いとかキッチンでの仕事が多い、結局アルバイトをしても、日本語を話せる機会が増えなかったです。だから私は策を変え、人が少ない定食屋さんと近所の焼鳥屋さんのお得意様になりました。結果的には、日本人の店長と仲良くできましたが、日本語を話す時間がそんなに長くなかったです。最後に私が考え出しました方法は都会から離れた

た大学を目指し、無事に福山平成大学の経営学部経営学科に合格しました。

しかし、不運なことに大学生生活の始まりと同時に、コロナもやはり始めた。授業の半分以上は遠隔授業、対面授業にしてもソーシャルディスタンスを保ち、マスクもちゃんとしているため、同級生の顔すらわからなかったです。部活も同じく、日本語を使うため演劇部に入りましたが、すぐコロナ防止のため活動停止しました。

日本語会話能力がなかなか成長出来ない絶望の状況に陥った私に、二つの転機が迎えました。一つ目転機は、私が留学生による日本語スピーチコンテストに出場し、優秀賞を獲得しました。少し自信をつけられただけでなく、そこで福山平成大学の姉妹校である福山大学の中国人留学生から、福山中国語研究会で中国語を教えるアルバイトを引き継ぐことになりました。日本語を話せる機会を得たが、教えることは簡単ではないです。相手の立場から授業を考え、自分が伝えたいことを日本語で伝えることが難しいです。二つめの転機はロータリー米山奨学生に合格したことです。このような卓話をする機会や例会に参加し、社会人と交流できることは、普通の大学生ではできないことです。困ったことがあれば、みんなが優しく手伝ってくれますし、就職活動をする際にも沢山のアドバイスを頂きました。そして、色々なイベントに参加することができました。



2022年9月21日
ヤマメ事件...



一番印象に残ったのはYAC(福山南ローズスター分団)合同例会、青少年奉仕の行事として神石高原町の山奥でサマーキャンプをしたことです。なぜならば、同日はヤマメ事件がありました。初めてヤマメを捕まえ、焼いて食べましたが、まさかのヤマメの骨が喉に刺さりました。刺さったまま二日耐えましたが、なかなか取れないため、耳鼻科に行きまして、内視鏡で鼻から入り、喉に刺さっている骨を無事に取り除いた。

以上二つのことで、私の一番弱い部分、日本語の会話能力が成長した気がします。

家族と日本旅行



他のエピソードもあります。まずは日本で車の免許を取得したことです。4年生時は忙しいと思い、3年生の時こそ自動車学校に通うチャンスと思いましたが、3年生の時は想像以上に忙しいため、運転免許証を取るには8ヶ月かかりました。実技授業の時に日本の自動車学校の方が丁寧に教えてくれることに気づきました。そして、ポンピングブレーキのところにも日本人の思いやりの心があると思います。免許証を取った後、ちょうどコロナで4年会えなかった家族が日本に来て、レンタカーで尾道に遊びに行きました。初めての運転で結構な距離を走り、とても緊張しました。

千光寺



厳島神社



千光寺を登り、綺麗な尾道と瀬戸内海を眺めました。他にも広島県の厳島神社や下関市と門司区を繋がる関門トンネルに行きました。

一泊二日ホームステイ



今年の8月、広島県留生活躍支援センターの企画で、日本人のご家庭に一泊二日のホームステイをさせていただきました。ホストファミリーの皆さんと、いろんなことに挑戦しました。



やっさ祭りと線香花火



朝ごはん

三原の「やっさ祭り」に行きました。既に日本に来て5年目ですが、初めての祭りです。料理が好きですが、初めて玉子焼きを作りました。

筆影山



三原の人なら必ず登ったことがある筆影山に登りました。ホストファミリーの皆さんのおかげで、たくさんの初体験ができました。短い時間でしたが、何もかもとても楽しかったです。

私は既に内定を頂きましたので、来年の四月から日本で働き始めます。残り数ヶ月の留學生活も楽しく過ごせると思います。

ご清聴ありがとうございました。

【その他報告】

《各種表彰等》

【誕生日】



《10月17日生まれ》梶原 啓子 さん

《10月21日生まれ》石川 真吾 さん

【皆出席】



《皆出席1年》小林 崇 さん

【クラブ活動報告】

【第126回西友会ゴルフコンペ】

日時：10月8日（日）

場所：新市クラシックゴルフクラブ



【優勝】藤井 啓之 さん

【準優勝】小林 崇 さん

【ベストグロス賞】小林 崇 さん



世界に希望を生み出そう